

## Ⅱ 里山再生整備事業 - ①

地域や生活に密着した里山を再生するため、里山の再生整備を県民協働で実施するほか、カシノナガキクイムシ被害木の除去や竹資源の利用や整備について検討します。

### ○平成20年度事業の実績

#### (1) 市町村による里山再生整備の実施

野生動物との棲み分けや景観の保全などを旨として、里山管理利用計画の策定や里山林整備、地域住民による整備活動の支援などを行いました。

#### 【平成20年度実績】

事業実施地区	84地区（14市町）
対象面積	739ha
事業主体	市町村

#### (2) 里山利活用促進事業

里山の継続的な管理・利用をすすめるため、「里山再生整備」に取り組む地域住民による里山の利活用体験を行いました。

#### 【平成20年度実績】

実施場所	上市町黒川地区
取組内容	県下各地の里山地区の住民などが参加し、広葉樹林の除伐、炭焼材料集め、キノコ植菌、山菜の植付け、炭焼きなど里山の活用方法を体験。 ・参加者数 5月18日 271名、10月25日 51名、 11月8日 74名

事業主体 県



第1回目（5/18）を「里山の集い」として開催し、石井知事はじめ地域住民の皆さんらが利活用体験に汗を流しました。（山菜苗の贈呈）



森林整備の実施により、明るくなった里山林へギョウジャニンニクなど山菜苗の植付けを体験しました。

## Ⅱ 里山再生整備事業 - ②

地域や生活に密着した里山を再生するため、里山の再生整備を県民協働で実施するほか、カシノナガキクイムシ被害木の除去や竹資源の利用や整備について検討します。

### ○平成20年度事業の実績

#### (3) カシノナガキクイムシ被害木の除去の実施

カシノナガキクイムシの被害により立ち枯れ状態にある木の除去を行い、防災および景観の保全を図りました。

##### 【平成20年度実績】

事業実施地区	46地区（14市町）
除去量	3446m <sup>3</sup>
事業主体	市町村

#### (4) 竹資源の利用・整備促進のための検討会やデータ整備の実施

拡大する竹林の実態把握をするとともに、竹資源の利用や竹林の整備を促進するための方策について検討しました。

##### 【平成20年度実績】

- 取組内容
- ・「とやまの竹資源利用・整備促進検討会」（委員長：内村悦三）の開催。（8/4、10/24、3/3）  
報告書を知事に手交（3/10）
  - ・衛星データを利用した竹林分布図、台帳を作成。

### 事業主体 県



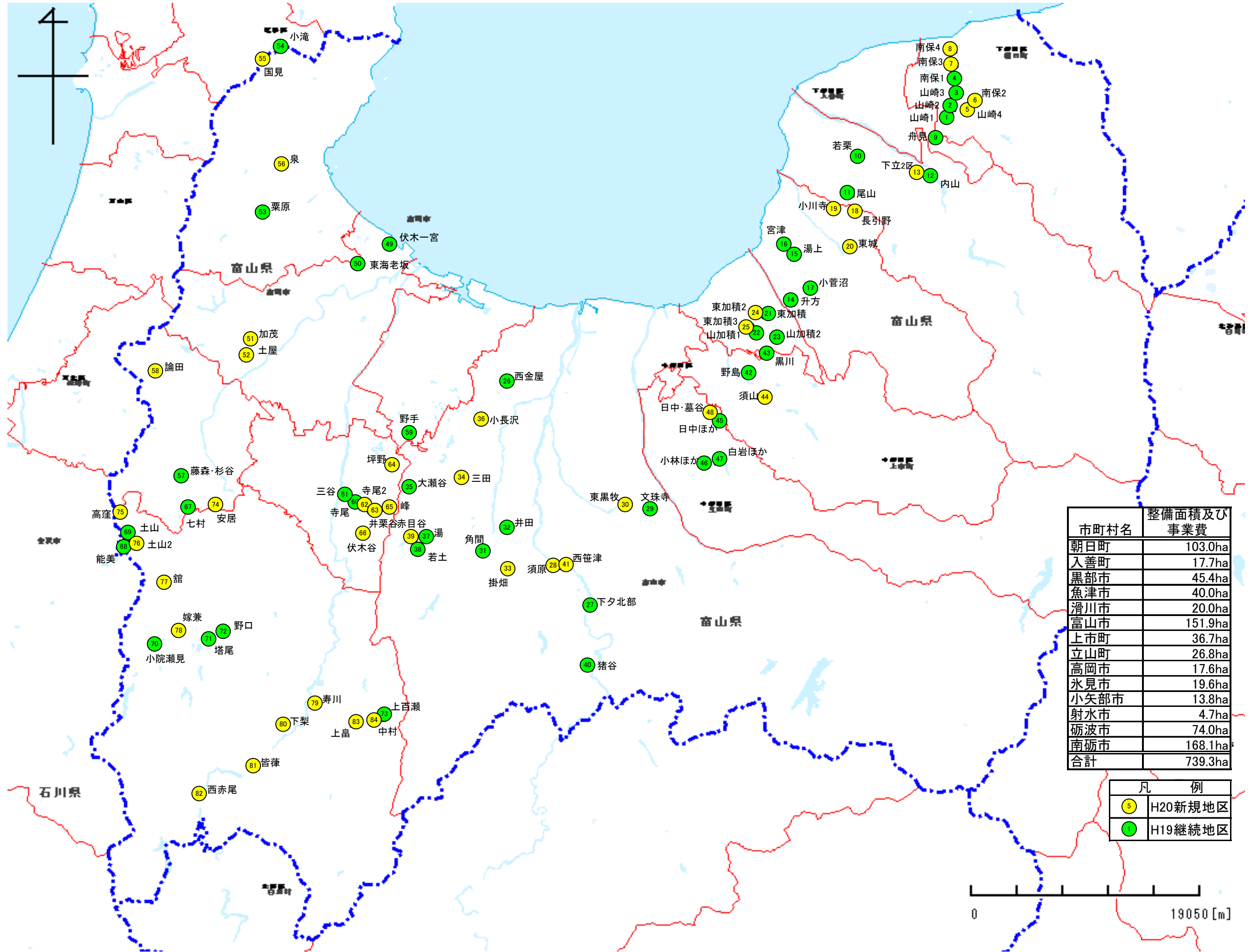
道路沿線にあるカシノナガキクイムシ経年被害木。放置しておくと、倒伏し通行者へ被害を与える恐れがある。（富山市亀谷地内）



枯損木を除去し、未然に危険を回避しました。



# 平成20年度 里山再生整備事業実施地区位置図



市町村名	整備面積及び事業費
朝日町	103.0ha
入善町	17.7ha
黒部市	45.4ha
魚津市	40.0ha
滑川市	20.0ha
富山市	151.9ha
上市町	36.7ha
立山町	26.8ha
高岡市	17.6ha
氷見市	19.6ha
小矢部市	13.8ha
射水市	4.7ha
砺波市	74.0ha
南砺市	168.1ha
合計	739.3ha

凡 例	
● (Yellow)	H20新規地区
● (Green)	H19継続地区

平成20年度 カシノナガキクイムシ枯損木除去事業 実績

管内	市町名	計画地区	事業目的			実績 m3
			防 災	景観の保全	目的詳細	
新川	1 滑川市	東加積		○	景観の保全(県道沿線)	56.91
	2 滑川市	山加積		○	景観の保全(県道沿線、公園施設)	30.86
	<b>滑川市計</b>	<b>2</b>				<b>87.77</b>
	3 魚津市	片貝	○		倒伏被害の防止(林道)	194.35
	4 魚津市	松倉		○	景観の保全(県道沿線)	109.32
	5 魚津市	西布施	○		倒伏被害の防止(人家、県道、林道)	67.58
	<b>魚津市計</b>	<b>3</b>				<b>371.25</b>
	6 黒部市	内山		○	景観の保全(高速・鉄道)	57.37
	7 黒部市	若栗		○	景観の保全(高速・鉄道)	300.05
	<b>黒部市計</b>	<b>2</b>				<b>357.42</b>
8 入善町	舟見		○	景観の保全(町道、自然公園)	41.46	
<b>入善町計</b>	<b>1</b>				<b>41.46</b>	
9 朝日町	山崎		○	景観の保全(県道沿線、観光施設)	138.83	
10 朝日町	境		○	景観の保全(高速・鉄道)	25.59	
<b>朝日町計</b>	<b>2</b>				<b>164.42</b>	
<b>新川管内計</b>	<b>10</b>				<b>1,022.32</b>	
高山	11 富山市	亀谷	○		倒伏被害の防止(林道)	80.00
	12 富山市	須原	○		倒伏被害の防止(林道)	60.00
	13 富山市	保内	○		倒伏被害の防止(工業施設)	60.00
	14 富山市	鍋谷	○		倒伏被害の防止(林道)	400.00
	<b>富山市計</b>	<b>4</b>				<b>600.00</b>
	15 上市町	伊折		○	景観の保全(県道沿線)	95.00
	16 上市町	大岩	○		倒伏被害の防止(人家)	70.00
	17 上市町	西種		○	景観の保全(県道沿線)	77.00
	18 上市町	黒川	○		倒伏被害の防止(県道)	58.00
<b>上市町計</b>	<b>4</b>				<b>300.00</b>	
19 立山町	白岩		○	倒伏被害の防止(人家)	300.00	
<b>立山町計</b>	<b>1</b>				<b>300.00</b>	
<b>高山管内計</b>	<b>9</b>				<b>1,200.00</b>	
高岡	20 高岡市	二上		○	景観保全(市道、キャンプ場)	66.70
	21 高岡市	沢川・五位		○	景観保全(県道)	3.40
	<b>高岡市計</b>	<b>2</b>				<b>70.10</b>
	22 氷見市	赤毛・坪池	○		倒伏被害の防止(県道・林道)	20.00
	<b>氷見市計</b>	<b>1</b>				<b>20.00</b>
	23 小矢部市	埴生		○	景観保全(市道)	50.90
<b>小矢部市計</b>	<b>1</b>				<b>50.90</b>	
24 射水市	金山		○	景観保全(高速)	10.15	
<b>射水市計</b>	<b>1</b>				<b>10.15</b>	
<b>高岡管内計</b>	<b>5</b>				<b>151.15</b>	
砺波	25 砺波市	頼成	○		倒伏被害の防止(公園施設、国道、林	80.41
	26 砺波市	五谷	○		倒伏被害の防止(県道)	23.80
	<b>砺波市計</b>	<b>2</b>				<b>104.21</b>
	27 南砺市	利賀村上百瀬	○		倒伏被害の防止(人家)	135.05
	28 南砺市	利賀村上畠	○		倒伏被害の防止(市道、観光施設)	89.73
	29 南砺市	利賀村岩淵	○		倒伏被害の防止(人家、国道)	11.79
	30 南砺市	利賀村北豆谷	○		倒伏被害の防止(人家、国道)	8.03
	31 南砺市	利賀村長崎上山	○		倒伏被害の防止(人家)	19.66
	32 南砺市	利賀村長崎川戸		○	景観の保全(国道沿線、庄川峡)	56.59
	33 南砺市	杉尾	○		倒伏被害の防止(国道、人家)	31.53
	34 南砺市	入谷・東中江	○		倒伏被害の防止(人家・市道)	33.89
	35 南砺市	下出	○		倒伏被害の防止(国道)	76.68
	36 南砺市	上松尾	○		倒伏被害の防止(人家、市道)	15.61
	37 南砺市	相倉	○		倒伏被害の防止(合掌集落、人家)	22.17
	38 南砺市	上梨	○		倒伏被害の防止(人家、国道)	28.39
	39 南砺市	猪谷	○		倒伏被害の防止(人家、市道)	26.42
	40 南砺市	小原	○		倒伏被害の防止(人家、市道)	33.78
	41 南砺市	西赤尾	○		倒伏被害の防止(国道)	8.96
	42 南砺市	院瀬見	○		倒伏被害の防止(人家、用水)	32.17
	43 南砺市	林道	○		倒伏被害の防止(公園施設)	21.26
	44 南砺市	小院瀬見	○		倒伏被害の防止(人家、市道)	12.60
	45 南砺市	才川七外	○		倒伏被害の防止(市道)	300.27
46 南砺市	香城寺	○		倒伏被害の防止(人家、用水)	4.00	
<b>南砺市計</b>	<b>20</b>				<b>968.58</b>	
<b>砺波管内計</b>	<b>22</b>				<b>1,072.79</b>	
<b>総計</b>		<b>46</b>	<b>30</b>	<b>16</b>		<b>3,446.26</b>

## とやまの竹資源利用・整備促進検討会報告の概要について

### 1 経緯

里山では竹林が放置され、竹林の面積が32年で約2倍に拡大しており（昭和50年572haから平成20年1,124haへ）、公益的機能や木材生産機能の低下が懸念されている。

また、平成19年度の「富山県水と緑の森づくり会議」においても、委員から竹林の整備に取り組む必要があるとの意見もあった。

このため、今年度「とやまの竹資源利用・整備促進検討会（委員長 内村悦三 県中央植物園長）」を設置し、本県における竹資源の利用と竹林の整備方針の検討を行い、この度、その報告をいただいた。

### 2 開催状況

スケジュール	検討事項
第1回 8月4日	①本県における竹林の現状及び課題について ②竹林整備の基本的方向について
第2回 10月24日	①竹林の整備と竹資源の利用の進め方について ②竹林の整備と竹資源の利用のための具体的方策について
第3回 3月3日	①報告書の取りまとめについて ②平成21年度竹関係事業 実施計画について

### 3 提言された「竹林の整備と竹資源の利用」の基本的な方向

「竹林は利用されてはじめて管理される」を基本理念に、以下の基本方向が提言された。

- (1) 竹の旺盛な成長力を活かし、循環資源として積極的な利用と管理の推進
- (2) 放置・拡大竹林において、景観、防災上重要な箇所の適正な管理、または林種転換の推進
- (3) 県民参加による竹林整備の積極的な推進

◆整備目標

①タケノコ生産などに利用する「生産竹林」	330ha
②景観や公益上保全すべき「環境保全竹林」	564ha
③拡大竹林を中心に広葉樹等に戻す「転換竹林」	230ha

### 4 検討会における提言を受け、平成21年度予算化した主な竹関係の新規事業

- (1) 竹林の林種転換事業費（1年目の伐採に加え、2年目、3年目の伐採）
- (2) かぐや姫の里づくり体験活動費  
（竹林管理技術の指導、竹林管理の意欲喚起を図る集いの開催など）
- (3) 竹資源ネットワーク化支援事業費  
（竹林所有者などの生産者と食品加工会社やパルプ会社などの利用者を結びつける竹資源ネットワークの構築など）

### (参考) とやまの竹資源利用・整備促進検討会 委員名簿

	分野	氏名	役職	備考
1	竹林	種部 修史	県西部森林組合 主任	
2	整備	正木 良雄	とやま森林サポーター 会長	
3	竹材	片山 喜一郎	(株)ケーシーピー 代表取締役	
4	利用	松浦 英樹	(株)富山環境整備 代表取締役社長	
5	利用	塩原 紘栄	富山県消費者協会 副会長	
6	利用	西川 牧子	J A富山県女性組織協議会 副会長	
7	地域	小幡 智恵子	富山県地域活性化 グループ協議会長	
8	地域	松原 俊邦	栗原タケノコ出荷組合 組合長	
9	学識経	内村 悦三	県中央植物園 園長	委員長
10	験者	高屋 武彦	県農林水産総合技術センター 所長	副委員長